

写真ニュース

発行:埼玉県生活協同組合連合会

Top News
5/18



JA・埼玉県生協連 協同組合間提携 埼玉県産米交流会 埼玉のお米を食べてみよう「体験田植え」を行いました

今年で15回目となった、埼玉県産米交流会「体験田植え」。会場となった久喜市のJA全農さいたま体験圃場に、34家族113人が参加し、親子で田んぼにゆっくりと足を踏み入れながら二列に並び、苗を植えていきました。終了後は、クイズラリーや、県産米のおにぎり、県産食材を使ったお味噌汁、つきたてのお餅を試食しました。また、家庭でできるバケツ稲の説明、餅つき体験もあり、楽しい一日を過ごしました。



6/20



埼玉県生協連第42回通常総会を開催しました

開会挨拶で伊藤恭一会長理事は、増税、社会保障制度、進まない地球温暖化対策や放射能汚染に、持続可能な共生社会の実現に向けた協同組合の役割を訴えました。来賓として埼玉県県民生活部消費生活課 課長 竹中健司様、JA埼玉県中央会 常務理事 矢作俊信様、埼玉県地域婦人会連合会 副会長 植田富美子様よりご挨拶をいただきました。岩岡副会長理事より、第1号議案から第6号議案まで一括提案され、議案討議後、全ての議案が承認されました。

埼玉県委託事業 2013年度 第1回県内消費者団体交流会 自立した消費者活動へ、県内の消費者団体が交流



県内24消費者団体52人が参加し、埼玉会館で行われた今回の交流会では、消費者の活動と行政との連携をテーマに、消費者行政調査取り組みについて、東京消費者団体連絡センター事務局長矢野洋子氏が講演。「地域の課題を地域の幅広い関係者と共有し、解決していく」とし、行政とも連携した地域社会づくりと消費者活動を話されました。

6/4

第49回埼玉県消費者大会 第1回プレ学習会 「TPP問題」講演会を行いました

5/23

埼玉県消費者大会の第1回プレ学習会が浦和コミュニティセンターで開催され、130人が参加しました。当日は、くらしと経済研究室 山家悠紀夫さんが「なぜ、TPP加盟か？加盟でくらしはどうなる？」をテーマに講演し、日本は、GDPへの効果見込みがほとんどなく、他国が米国に賛同すれば、交渉で意見は通りくいと話されました。



6/25



埼玉県生協ネットワーク協議会 スキルアップ応援講座 有意義な「会議のつくり方」を学びました

コープみらい「コーププラザ浦和」で65人が参加し、都市づくりNPOさいたま理事・事務局長 三浦匡史さんを講師に、「会議のつくり方」をテーマに学習しました。有意義な会議のあり方、市民活動で、集まって話し合うことの意味や役割について触れ、いろいろなパーソナリティを生かすことが大切だと話されました。午後は、2013年度全体会 第1回協議会を開催し、総合テーマ「広く地域の中でのつながり合うために」の下で、2013年度活動日程等を話し合い、運営委員を決めました。

講師の
三浦匡史さん

適格消費者団体・NPO法人埼玉消費者被害をなくす会 第10回総会が開催されました

さいたま市の浦和コミュニティセンターで団体・個人正会員など65人が出席して開催されました。池本理事長より挨拶の後、埼玉県県民生活部消費生活課 課長の竹中健司様から来賓挨拶をいただきました。岩岡専務理事より議案が提案され、質疑応答の後、3つの議案が賛成多数で承認されました。総会終了後、記念講演として「適格消費者団体の主な取り組み状況・成果・訴訟の争点など」と題し、検討委員の四氏より、適格消費者団体による差止請求訴訟業務が挙げられている成果と、なくす会の差止請求関係の取り組みが報告されました。

6/26



挨拶する
池本誠司理事長

お詫び

写真ニュースNO.46(2013 春号)で、社会民主党佐藤征太郎県議との懇談記事がもれておりましたので、今号に掲載いたします。関係の皆様にご迷惑をお詫び致します。

県議会各政党・会派との懇談会 40周年の埼玉県生協連の活動と 県内生協の取り組み等について懇談

県生協連と会員生協の事業状況、県生協連40周年記念事業の有識者アンケートとこれからの方向性、「福島の子ども保養プロジェクト」や2012国際協同組合年の取り組み等について説明し、質問もいただきながら意見交換しました。



1/11

社会民主党 佐藤県議(右側)と懇談

広がる県内生協の多彩な活動

コープみらい

旧騎西高校(加須市)で新たな支援、 交流の場「おしゃべりサロン」を開催しました



7月4日、コープみらいの組合員、パルシステム埼玉、医療生協さいたま、JAグループさいたま、加須市女性団体連絡協議会の皆さんが協同して、生徒ホールで「おしゃべりサロン」を開催。お茶やお菓子のほか、当日はボランティアの皆さん12人が野菜スープを用意、皆さんにおしゃべりなどの交流をお楽しみいただきました。また、双葉町の皆さんと校内を回り、お越しにならなかった方にお声かけするなどの見守り活動をしました。「おしゃべりサロン」は、これまで2年間、他団体の皆さんと協同して継続してきた週1回の吹き出しに替わる新たな支援として、毎週木曜日に実施しています。

パルシステム埼玉

「見守りネットワーク活動」始まっています!



パルシステム埼玉は、昨年9月に蕨市で「見守りネットワーク活動」に関する協定を結びました。「見守りネットワーク活動」とは、配達担当者が組合員宅に商品をお届けする際に、先週配達した商品がそのままになっていたり、ポストに新聞や郵便物が溜まっているなど、組合員や周囲の異変を察知した場合、蕨市に連絡し、蕨市がその報告に基づき安否確認を行うものです。6月より、この「見守りネットワーク活動」をパルシステム埼玉の全センター・事業所でも開始しました。今後、県内全域に広げ、安心して暮らせる地域づくりに貢献していきます。

生活クラブ生協

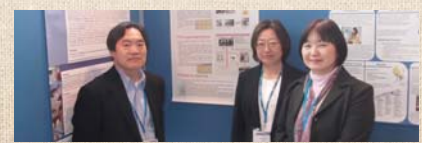
今年度もやります! NO₂測定



長年、行ってきたNO₂測定ですが今年度からは独自で行うこととなり、参加支部も少なくなりました。しかし、次世代に環境負荷の少ない地域社会づくりを伝えることが必要であり、市民が中心になって測定をすることに大きな意味があります。蓮田市ではNO₂測定経験者を中心に組合員・住民が行政と話し合い住民の意見を取り入れた道路建設が行われました。NO₂測定からまちづくりへと広がっていく活動を大事にしています。

医療生協さいたま

医療生協の健康づくりを世界に発信します



医療生協さいたまの病院・診療所では、昨年度より「HPPH」に加盟する取り組みを行っています。「HPPH」は「健康増進拠点病院」のことで、WHO(世界保健機構)が世界中の医療機関を対象に加盟をすすめているものです。全世界で約900の医療機関が加盟していますが、病院・診療所と組合員がいっしょに健康づくりをすすめているのは医療生協だけです。医療生協さいたまでは5月にスウェーデンで開催された「国際カンファレンス」に参加し、地域とともに実践する健康づくり活動として「口腔ケアの取り組み」「遊楽所にいる患者さんの治療食支援」を報告し、参加者の関心を呼びました。すでに秩父生協病院は「国際HPPHネットワーク」に加盟し、これまでも取り組んできた「地域まるごと健康づくり」をさらに成果がみえるものにしていく予定です。

埼玉県勤労者生協

組合員の生協事業参加と利用を広げます



4月1日から、現行の独自共済を全国共済生活協同組合連合会の受託共済に移行し、保障・掛金・商品等グレードアップしました。住宅関係は「ホームページ」や機関紙「生協と福祉」への空室状況掲載、流通市場への斡旋の依頼で空室率改善に取り組みます。機関紙「生協と福祉」は当期も4回、紙面を充実しながら事業活動状況について報告し、組合員の理解と協力を得て生協事業への参加と利用促進に努めます。

コープネット事業連合

組合員と役員が参加し、 JAふくおか八女を産地視察しました



コープネットグループが2012年度に企画・開催した産地工場見学や商品・商品政策などの学習会に、5千人以上の子どもを含む約3万人が参加しました。コープネットグループでは、組合員を対象に、産地や工場が商品がどのように作られているかを見学したり、産地やメーカーの方と交流しながら商品について学習する機会を設けています。2012年度の産地工場見学は子どもの参加者が増え、親子で食の生産現場を学ぶ企画に関心が集まりました。また、商品政策に関する学習会では、コープネットグループの食品添加物基準の改定やTPP(環太平洋パートナーシップ協定)についての学習会に多くの組合員が参加しました。

子どものその保育生協

未来をつむぐイメージする力(絵本だいすき) 絵本の講演会を開催しました



7月2日に、組合員のお母さんたちに向けた絵本の講演会を能登理事長が行いました。たくさんのお話を聞いてもらった組合員からは、その心地よさを実感し「読み聞かせをすることの素晴らしさ、本にふれて想像力を豊かにすることの大切さがよくわかりました」「良い絵本は、子どもを育てるだけでなく、読み聞かせる人を育てる力があると思いました」などの感想が寄せられました。

さいたま高齢協

デイサービスまあち見学会を開催しました



所沢市向陽町に4月22日より移転したデイサービスまあちの見学会を5月19日に行いました。向陽町の周辺宅にポスティングしたこともあり、当日は25名の方が熱心に施設内をご覧になりました。会場では、今後のコミュニティスペースの活用について説明し、デイサービスまあちとヘルパーステーションまあちのチラシや緊急対応ノートをお渡しし、ご自宅での活用をおすすめしました。